

バイオリジカルインジケータ(BI)

(エチレンオキシドガス滅菌用)

《使用説明書》

保管上のご注意

- ・ 2~25℃、RH 20%~80%で遮光保管してください。
- ・ 滅菌器や殺菌消毒剤から離れた場所に保管してください。

使用前のご注意

- ・ 有効期限をご確認ください。
- ・ 本品の完全性をご確認ください。
- ・ キャップの窓にテープやラベルを貼らないでください。
- ・ 滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- ・ 冷蔵保存の場合、室温になってからご使用ください。

廃棄の際のご注意

- ・ 滅菌不十分と判定された使用済み及び期限切れの本品は、必ず滅菌処理(121℃、30分)を行った後廃棄してください。

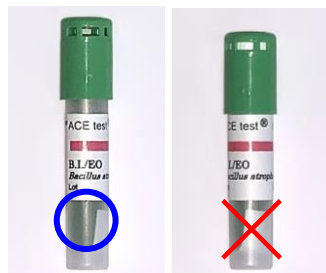
使用方法

- 1 写真のようにキャップにある窓が完全に開いていることを確認し、ラベルの空白箇所に滅菌管理上の必要事項(例:実施日時・箇所等)を油性ペンで記入し、BI を適切なパックに入れ、滅菌器の中で最もガスが達しにくい箇所に置いて、滅菌処理を行ってください。

注意: BI の上に被滅菌物が重ならないようにしてください。

- 2 滅菌処理後直ちに滅菌器から取り出し、ラベルのケミカルインジケータが赤色から青色に変色していることを確認し、滅菌袋を開けずにキャップをきちんと押し込んで閉めてください。

- 3 十分放熱させた BI を写真のようにクラッシャーにセットし、アンプルを割ってください。キャリアが培地の中に完全に浸漬していることを確認してください。



注意: 絶対にアンプルを手で割らないでください。作業時は傷つけないように必ず保護メガネ・マスク・手袋を着用してください。

- 4 アンプルを割った後、BI を垂直に保ったままインキュベーターに入れ、30~37℃で48時間或は7日間を培養してください。
- 5 陽性コントロール: 滅菌処理をしていない BI のキャップを閉め、アンプルを割ってから同様にインキュベーターにて培養します。陽性コントロールは、使用毎に行ってください。
- 6 48時間以上の培養を行う場合、培地の蒸発を防ぐためにパラフィルムを使い、キャップ全体を密封してください。

注意: 培養の際、必ず BI を立たせた状態で培養してください。



結果判定

陰性

培地の色は青緑色から変化なし ⇒ 滅菌完全

陽性

陽性コントロールのように、培地の色変化あり(青緑色から黄色) ⇒ 滅菌不完全
陽性になる原因として次の3つが考えられる。

- ①被滅菌物による影響
- ②BIの培養手技の問題
- ③滅菌器本体の問題



製造者 上海福沢医薬器材有限公司

http://www.fzme.com

発売者 福沢商事株式会社

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-36-30

TEL:045-845-2699 FAX:045-845-2889